

せいじの

平成29年1月

149号

青磁野リハビリテーション病院
 せいじの健診センター
 介護老人保健施設 青翔苑
 グループホーム あおばの家
 地域介護相談センター けあまっぶ城西
 訪問看護ステーション城西
 せいじのヘルパーステーション
 サービス付き高齢者向け住宅 ファインテラスせいじの
 熊本市西2地域包括支援センター



医療法人金澤会
 理事長 金澤 知徳

明けましておめでとうございます。昨年の災いが嘘のように空高く晴れ渡った清々し

いお正月、皆さん如何お過ごしでしたか。私自身は昨春に母を看取ったことから、静かなお正月をすごしました。それでも、二日には家内とお城に向かって歩き、折々に患者さんや知人の方々とご挨拶を交わすことができ、互いにとって本年がほど良い年になるようにと心に念じました。

実は、医療や介護の分野にとって本年は大きな節目の年であり、平成29年度いっぱい介護療養病棟が姿を消す年なのです。すなわち、病気が落ち着いても介護を必要とする方々の療養の場が移り変わろうとしています。また、在宅でのヘルパーさんやデイサービスの制度も変わろうとしています。

そのような平成29年は、地域の皆さんと共に今後を学び今後を見据えて、新しい生活の基盤作りにさらに力を注がなくてはならないと、決意を新たにお城を後にしました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



青磁野リハビリテーション病院
 院長 金澤 親良

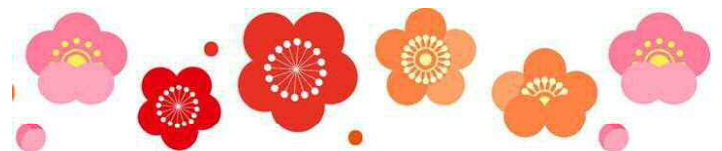
新年明けましておめでとうございます。昨年の震災では、ほとんどの方が何らかの被害を受けられ、未だ震災前の状態に戻っていない方も

多いと思います。

当院では幸い震災によって入院患者さんへの人的被害はなく、建物の被害はありましたが、何とか診療は中断することなく続けることができました。震災直後は、避難所では生活できない方々の宿泊を受け入れたほか、全国から医療関係の支援物資の拠点として、他の医療機関への、水や支援物資の供給のお手伝いをさせていただき、少しはお役に立てたのではと思っています。

今回の震災では、日頃から地域活動をされている自治会や民生委員の方々が本当に力を発揮され、日頃の連携がいかに重要であるか、あらためて分かりました。私たちもこれまで以上に地域の方々との連携を深め、医療機関として何ができるのか考えていきたいと決意を新たにしました。

今年は、穏やかな1年であることを祈りながら、日々の生活に感謝して、職員全員で力を合わせて前へ進んでいきたいと思っています。



せいじの149号

- インフルエンザが流行しています
- CT新機種導入
- 熊本県復興リハビリテーションセンターの活動
- ファインテラスせいじの5周年
- 介護予防・日常生活支援総合事業の開始
- クローズアップ

鍼灸マッサージ 部門、トレーナー部門、リハビリ部門

インフルエンザが流行しています！！



① * 症状について

インフルエンザは、かぜ症候群を構成する感染症の一つで、突然の高熱、頭痛、悪寒・筋肉・関節痛、倦怠感など普通のかぜに比べて症状が重く、特に高齢者や心臓病などの基礎疾患がある場合には重症化しやすい傾向があります。また、肺炎や脳症などの合併症も問題となっています。一方、普通のかぜは微熱で咽頭痛や鼻汁など症状が局所的にでるのが一般的です。

* 感染について

感染の主な経路は接触感染です。例えば、ドアノブやスイッチなど人が触れるものにウイルスが付着し、それを別の人が触り、その手で口や鼻に触れることで感染してしまいます。他には咳やくしゃみからウイルスを吸い込み感染することもあります。

* 予防法について

重要な予防方法は、とにかく手洗いです。外から帰宅した際や食事前は手洗いをこまめに行いましょう。また、ウイルスを広げない為のマスク着用、人ごみを避けることも有効です。

② * ワクチン接種について

ワクチンを接種したからといってインフルエンザにかからないわけではありませんが、ワクチンの効果として、インフルエンザにかかりにくくなること、かかっても重症化しにくくなることがありますのでワクチン接種も重要です。

● 病院や介護施設などの患者さんや入所者が感染すると重症化する危険性があるため、流行期にはお見舞いなどの入室を制限させていただくことがあります。ご理解いただきますようお願いいたします。

※ 出入り口に設置してあるアルコール手指消毒薬とマスクはご自由にご利用ください。

(感染対策委員会 作業療法士 小池勇聡)

CT新機種導入！



当院では、患者さんが「安心・安全」で多機能なCT撮影ができるよう、東芝メディカルシステムズ社製の80列マルチスライスヘリカルCT装置を導入しました。以前のCT装置は4列でしたので、単純計算では20倍の機能アップということになります。

胸部CTで1回の息止めが5秒程度です。また開口径が78cmとワイドになっていますので、圧迫感が少なく楽な姿勢で検査を受けることができます。

さらに造影剤という薬を使うと、血管がきれいに描出されるため、冠動脈(心臓)CT検査も行うことができます。1スライスの幅も最小0.5mmと薄く、より精密で高度な画像情報の提供が可能となりました。

(放射線科 放射線技師 入江紀子)

仮設住宅などへの復興リハビリテーション活動

平成28年熊本地震発災後、生活の場は避難所から仮設住宅等へ移行しました。仮設住宅等での高齢者の心身機能の低下や閉じこもりを予防する



(会場の「みんなの家」)

(会場内の様子)



ために、7月に熊本県復興リハビリテーションセンターが設置され、青翔苑は西原村の小森仮設団地で12月から仮設住宅集会所やみんなの家などを借りて体力測定や運動の指導等を行っています。活動の中では顔見知りの方が久しぶりの再会を喜ばれる姿を目にすることができ、運動やレクリエーションを通して、笑顔や笑いの絶えない時間を過ごしています。中には今後の生活への不安を訴える方もおられ、心身のケアの難しさを感じています。今後も微力ながら復興に尽力していきたいと思えます。

(介護老人保健施設 青翔苑 理学療法士 上村和徳)

ファインテラスせいじの5周年！ ● ● ● ● ●

ファインテラスせいじのは、開設5年を迎えました。将来に不安を持つ高齢者が、現在の生活圏から離れることなく生活できる高齢者住宅として誕生したファインテラスは、地域の方の声を反映し、約9割強の方が熊本市内の方でそのうち半数以上が熊本西部地区の方です。

入居者の平均年齢は88歳、平均介護度は1.77と、5年を経て、年齢・介護度共に上昇傾向にありますが、健康チェック、診療の対応、個別機能訓練の実施など健康面、生活面で迅速な対応ができることは病院併設の強みであると実感しています。最期までファインテラスでの生活を望まれた3例の看取りも経験しました。外来や訪問看護ステーション、ヘルパーステーションとの連携もスムーズにでき、待たせない、即実践が可能な状況にあるのもありがたいことです。

ここでの生活が不安なく楽しいと感じていただけるよう、地域行事や日本古来の季節行事などのアクティビティ活動の充実が心げ、入居者の方々のこれまでの経験や知恵も頂きながら活動してきましたが、自分たちの思いが入居者と共有できているのか、満足していただいているのか問いかける日々でもあります。

昨年にはブログ「ふくぶくろ～地域福祉日記～」

を開設し、活動の様子などをアップしています。また交流サロンでのカフェは順調に稼働し毎回30名ほどの参加があります。

12月には「ファイン介護塾」を開催し、地域の方々へ介護のノウハウ普及活動を始めました。業務改善のためのTQM活動も、3回目の発表会を今年1月、2月に行います。

地域の方々、ボランティアの方、ご家族の協力などたくさんの方に支えられて「ファインテラスらしさ」を出せているかと思えます。これから更なる内容の充実、質の向上を目指し、ファインテラスで出会った方々が最高の喜びを感じていただけるよう邁進していきたく思います。

(ファインテラスせいじの センター長補佐 笹井テルヨ)



(平成28年5月13日 カフェ1周年記念オープンカフェの様様)

介護予防・日常生活支援総合事業の開始 (平成29年4月)

熊本市では平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業(以下、総合事業)が始まります。これまでの介護保険制度は、全国一律の制度で運用されてきました。しかし団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年を見据え「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築」を目指すにあたり、これまでの制度下では地域の実情に応じた柔軟な対応を行うことができないとの懸念がでてきました。そこで総合事業では介護保険制度の一部を市町村が制度設計、運用することになりました。

具体的な変更点としては、これまでの要支援1・2認定者が利用していた訪問介護と通所介護サービスについては各市町村で利用基準・利用料金等を設定します。また、それらのサービスを利用するにあたり、必ずしも介護保険認定を受ける必要はなくなり「基本チェックリスト」というチェック表を用いた簡易な方法でサービス利用の適否を判断をすることができるようになります(「基準該当者」という認

定区分が新設されます)。

また、これまで元気高齢者を一次予防事業、虚弱高齢者を二次予防事業に分け、それぞれに実施していた介護予防事業を統合し、さらに介護保険認定者も利用できる「一般介護予防事業」が新設されます。この原稿執筆時点(平成28年12月)では熊本市の総合事業の詳細は決定していませんがこれからは市町村ごとにサービス内容が異なることとなります。ただ、今後も高齢者の社会保障制度を維持していくために、これまでの介護保険サービス等の、「公助・共助」に頼るだけでなく介護予防に自ら努める「自助」や地域で互いに支え合う「互助」を重視した制度設計を行うことは各市町村共通のコンセプトとなっているようです。

(ささえりあ井芹
室長 徳永航太)



クローズアップ!

コンディショニングセンター（鍼灸マッサージ部門、トレーナー部門） テクノエイド部門 編

鍼灸マッサージ部門では、「トータルバランスを整え笑顔に」をモットーに、マッサージや鍼、温熱療法、電気治療等を行っています。現在、鍼灸マッサージ師3名で、皆様が心身ともに元気になるためのお手伝いをさせていただきます。

トレーナー部門では、健康運動指導士4名と健康運動実践指導者1名の5名で、安全で効果的な運動を行うための、運動プログラム作成や実践指導を行っています。運動を通して、腰痛や膝痛の予防改善、介護予防を目的とした転倒予防など皆様の健康、体力づくりをサポートしています。各地域の公民館などにもお伺いしています。

テクノエイド部門では、2名のスタッフが車いすやベッド等の管理やメンテナンス、修理や物品

製作を行っています。適切な福祉用具の提供を通して患者様が安全で安心な生活が送れるように頑張っています。

(コンディショニングセンター兼テクノエイド部門
科長 吉武浩哲)



青磁野リハビリテーション病院 外来診療担当表

平成29年1月1日～3月31日

《受付時間》 午前／ 8:30～12:00
午後／13:30～17:00

《診療時間》 午前／ 9:00～12:00
午後／14:00～17:00

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	金澤知	金澤知	竹内	金澤知	安野	岩岡
		石本	森	金澤尚	石本	金澤尚	第1・3・5 山村
		森	上野	佐々木 (9時半～)	担当医	中根 (9時半～)	第2・4 菊川
	午後	上野	(予約制)石本	森	竹内	高木	橋本
		橋本	橋本	(予約制)安野	岩岡	橋本	—
		—	—	—	担当医	—	—
整形外科	午前	金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	—
	午後	予約制					—

●金澤会理念●

私たちは、社会から信頼され必要とされる医療と福祉の実現を目指します

●基本方針（3本柱）●

1. 医療（メディカル・ケア）

内科・整形外科・リハビリテーション医療の病院として、質の高い医療サービスをご提供します

2. 福祉（ソーシャル・ライフ・ケア）

施設内及び在宅の障害者、高齢者の生活の自立を支援すると共に、医療、福祉に関する様々なご相談にお応えします

3. 健康（ヘルス・プロモーション）

人間ドック、健康診断、企業健診を通して、地域の皆様の健康づくりを支援します

青磁野リハビリテーション病院のデータ

(平成28年度上期)

病院診療情報

・外来患者延数	17,534人(1日平均117.7人)
・延べ入院患者数	38,788人(1日平均212.0人)
・新入院患者数	401人
・退院患者数	403人

せいじの149号 平成29年1月
発行●医療法人金澤会
発行人●金澤 知徳
編集●青磁野リハビリテーション病院 総務課
〒860-8515 熊本市西区島崎2丁目22-15
TEL096-354-1731 FAX096-354-1736
<http://www.seijino.or.jp/>

